製品安全データシート

作成日　　：2001年6月16日
改訂日　　：2008年6月26日

1.製品及び会社情報

製品名　　：IPA(イソプロピルアルコール)

供給者情報
会社名　　：エフイートレード株式会社
住所　　：神奈川県藤沢市弥勒寺75-1
TEL　　：0466-50-2422
FAX　　：0466-50-2430
担当部署　　：商品管理部

2.危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響　　：引火性液体

GHS分類

物理化学的危険性	：引火性液体	区分2
健康に対する有害性	：急性毒性（経口）	区分5
	：急性毒性（経皮）	区分5
	：急性毒性（吸入・蒸気）	区分外
	：皮膚腐食性/刺激性	区分外
	：眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
	：呼吸器感作性	区分外
	：皮膚感作性	区分外
	：生殖細胞変異原性	区分外
	：発がん性	区分外
	：生殖毒性	区分2
	：特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	区分1
	：特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	区分2
	：吸引性呼吸器有害性	区分2
環境に対する有害性	：水生環境有害性（急性）	区分外
	：水生環境有害性（慢性）	区分外

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語　　：危険

危険有害性情報　　：引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害のおそれ
皮膚に接触すると有害のおそれ
急性毒性範囲数値以下に基づき、区分外
皮膚腐食性/皮膚激性に関する情報なし

重篤な眼への刺激
呼吸器感作性に関する情報なし
皮膚感作性に関する情報なし
生殖細胞変異原性に関する情報なし
発がん性に関する情報なし
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害
長期又は反復暴露による肝臓の障害の恐れ
飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ
水生環境有害性（急性）に関する情報なし
水生環境有害性（慢性）に関する情報なし

注意書き
: 容器を密栓しておくこと。
: 熱/火花/裸火/高温のものから遠ざけること。禁煙。
: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
: 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
: 火花を発生しない工具を使用すること。
: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
: 取り扱い後はよく手を洗うこと。
: 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
: 皮膚にかかった場合は、直に汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
: 皮膚を多量の水で洗い流すこと。
: 眼に入った場合は、多量の水で15分間以上良く洗い流すこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
: 眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
: 暴露又は暴露の懸念がある場合は、医師の診断を受けること。
: 暴露した場合は、医師の診断を受けること。
: 飲み込んだ場合は、無理に吐かせず直に医師の診断を受けること。
: 換気の良い冷暗所に保管すること。
: 施錠して保管すること。
: 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区分：単一化学物質

成分	CAS No.	化審法番号	含有量（%）
イソプロピルアルコール	67-63-0	2-207	99%以上

4.応急措置

眼に入った場合
・直に多量の水で15分間以上まぶたの裏まで洗い流し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合
･多量の石鹸水で付着した部分を洗い流す。皮膚に異常がある場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合

・直に新鮮な空気の場所に移動させ、安静にする。意識がない場合は人口呼吸を行う。
・医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合
・無理に吐かせないで直に医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	: 炭酸ガス、泡、粉末
使ってはならない消化剤	: 水、乾燥砂
火災時の特定の危険有害性	: 有害燃焼生成物
消火方法	: 可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。 : 指定の消火器を使用すること。 : 水を消火に用いてはならない。
消火を行う者の保護	: 適切な保護具(耐久性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
・作業の際には適切な保護手袋、保護眼鏡等を着用する。

環境に対する注意事項
・乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させ回収する。
・多量に漏出した場合は、土のう等で囲って流出を防止する。
・河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込めおよび浄化方法・機材
・漏出物は空容器に回収し、安全な場所に移す。
・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処理をする。
・付近の着火源･高温体及び可燃物を素早く取り除く。
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
・衝撃、静電気で火花が発生しないような材料の用具を用いて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意
・取扱いは換気のよい場所で行い、発散した蒸気を吸い込まないようにすること。
・保護眼鏡、保護手袋等を着用し、眼と皮膚との接触を避ける。
・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
・容器を転倒または落下させたりして、衝撃を与えてはならない。

保管上の注意
・直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密栓し保管する。
・他の容器に移し替えて保管しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策
・取扱設備は防爆型を使用する。

・排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにすること。
・液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースを取り付けるように設備すること。
・高濃度となる作業所内では、密栓された装置、機器または局所排気装置を設けることが望ましい。
・取扱い場所で使用する電気機器のスパーク等に十分注意をし、機器類は静電気対策を講じる。
・密閉場所（タンク内部、室内、床下等）で作業する場所には密栓場所、特に底部まで充分に換気できる装置を取り付ける。

管理濃度　　：200ppm[イソプロピルアルコール]

許容濃度
・日本産業衛生学会　　：400ppm[イソプロピルアルコール]
・ACGIH　　：400ppm[イソプロピルアルコール]

保護具
・保護眼鏡　　：適切な保護眼鏡を着用する。
・保護手袋　　：耐久性のある保護手袋を着用する。
・保護衣　　：適切な保護衣を着用する。
・呼吸保護具　　：有機ガス用防毒マスクを着用する。
：密栓された場所では送気マスクを着用する。
：その有害性物質に対して適切な保護の出来るマスク着用する。

9.物理的及び化学的性質

外観	：無色透明液体
臭気	：独特の芳香を有する
ｐH	：-
凝固点	：-89.5℃
沸点	：81.5℃～83.0℃（乾点）
引火点	：11.5℃
発火点	：399℃
爆発限界（vol%）	：下限2.0　上限12.7
蒸気圧(Pa)	：4320
蒸気密度	：2.07（水＝1）
比重	：0.786
溶解性	：水によく溶ける
オクタノール/水分配係数	：データなし
分解温度	：データなし
分解性	：良分解性

10.安定性及び反応性

安定性
・常温では反応性はない。

避けるべき条件
・直射日光を避ける。
・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・衝突を避ける。

危険有害性反応可能性
・特に情報なし

混触危険物質
・硝酸、過酸化水素、臭素酸ナトリウム等条件により反応及び爆発の危険性あり。

危険有害な分解生成物
・NO_x CO_2が発生する

11.有害性情報

化学名　：イソプロピルアルコール

急性毒性
・経口　：ラットLD50＝5280mg/kg（EHC(1990)、SIDS(1997)）、5500mg/kg（（EHC(1990)、SIDS(1997)、CERIハザードデータ集（1999））、5480mg/kg（EHC(1990)、PATTY(1994)）、4710mg/kg（EHC(1990)、PATTY(1994)、SIDS(1997)）、1870mg/kg（CERIハザードデータ集（1999））があり、それらの統計計算で求めた毒性値は3437mg/kgとなることから区分5とした。

・経皮　：ウサギLD50=12870mg/kg（EHC(1990)、PATTY(1994)、SIDS(1997)、CERIハザードデータ集（1999））および4059mg/kg（CERIハザードデータ集（1999））があり、これらの低い方の値から区分5とした。

・吸入・蒸気　：ラットLC50（4時間蒸気暴露）＝72600mg/m3（29512ppm）、EHC(1990)、PATTY(1994)、SIDS(1997)および29620ppm（72865mg/m3）（CERIハザードデータ集（1999））に基づき、いずれもミストを含まない蒸気での暴露におけるppm濃度基準値の区分5の範囲を超えていることから区分外とした。

皮膚腐食性/刺激性　：EHC 103(1990)、PATTY(4th、1994)、ECETOC TR66(1995)、CERI。ハザードデータ集（1999）のウサギ皮膚刺激性試験では、刺激性なし又は軽度の刺激性の報告はあるが、EHC 103(1990)のヒトでのボランティアおよびアルコール中毒患者の治療のため皮膚適用した試験では刺激性を示さないとの報告から区分外とした。

発がん性　：IARC(Access on Oct 2005)でグループ3、ACGIH(2003)でA4に分類されていることから区分外とした。

12.環境影響情報

生態毒性
・水生環境有害性（急性）　：魚類（ヒメダカ）の96時間LC50＞100mg/L(環境省生態毒性試験報告（1997））から区分外とした。
・水生環境有害性（慢性）　：急性毒性が区分外である（急性毒性は低い）ことから区分外とした。

13.廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報
・容器、機械装置等の洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さないこと。
・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
・廃液は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に適切な処理を委託する。

使用済容器
・容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者に適切な処理を委託する。

14.輸送上の注意

国際規制

国連分類	:クラス3（中引火点引火性液体）
国連番号	:1219
指針番号	:129
品名	:ISOPROPANOL(ISOPROPYL ALCOHOL)
容器等級	:クラス3等級Ⅱ
海洋汚染物質	:該当なし
欧州商業用既存化学物質（EINECS）	:200-661-7 propan-2-ol
米国有害物質規制法（TSCA）	:2-Propanol

国内規制

港則法	:危険物（引火性液体）
船舶安全法	:別表第5（中引火点引火性液体）
航空法	:（引火性液体）

輸送時の安全対策及び条件
・運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15.適用法令

労働安全衛生法	:有機則　第2種有機溶剤
	:危険物（引火性の物）
毒物及び劇物取締法	:非該当
消防法	:第4類アルコール類（水溶性液体）（400L）
化学物質管理促進法	:非該当
大気汚染防止法	:揮発性有機化合物（VOC)該当
外為法	:別表第2の35の2項
バーゼル法	:第2条特定有害廃棄物等

16.その他の情報

主な引用文献
・独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）
・化学商品（化学工業日報社）
・化学物質環境・安全管理用語辞典、化学工業日報社
・MSDS(化学物質安全性データシート）用語集、化学工業日報社

※この製品安全データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成しておりますが、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は含まれておりません。
取扱いの際にはこのデータシートを参考として適用法令に従い、自らの責任において使用条件、使用目的を考慮の上、適切な取扱いが必要であることを認識頂き活用されるようお願い致します。